

千葉医療センターに入院された皆さまへ

当院附属看護学校では、千葉医療センター倫理委員会承認のもと、看護研究を行っています。対象となる患者様の診療情報を研究目的で利用させていただきます。この研究に同意されない場合、診療や看護を受けるうえで不利益が生じることはありません。以下の研究の説明内容をお読みになり、ご自身、あるいはご家族が該当すると思われ研究への協力を希望されない場合、あるいはご質問がある場合は遠慮なく末尾のお問合せ先にお申し出ください。

○研究課題

老年看護学実習に関する看護診断の使用頻度調査

○研究目的

本研究は、老年看護学実習で学生が受け持った患者様の看護診断（※1）と、老年看護学実習の期間入院した60歳以上の患者様の看護診断の情報を集め、授業と実習の教育内容の充実を図ることが目的です。

学生は、高齢者看護学演習の授業で看護診断を学んでいます。看護診断の実態を調査し、授業内容を病院の看護に即した内容に改善したいと考えています。授業内容が改善されると、学生が早い段階で患者様にあった看護ケアを考え提供することに役立ちます。また学生が看護師になった時に患者様へ質の高い看護を提供することにもつながると考えます。

※1 看護診断とは、看護師が患者様の健康状態や問題点を評価し、看護上の問題点やリスクを明確にするための過程です。看護診断では患者様の症状や行動、生活環境などを総合的に評価し、具体的な看護介入を計画するための基盤となります。看護診断があると患者様に対して適切な看護ケアを行うことができ患者様の要求を満たし、早期治療を図ることができます。看護診断では、患者様の目標・成果や看護計画を導くために、看護診断名、診断指標、関連因子、危険因子という要素が用いられます。

○研究方法

既存の情報を収集し分析します。対象となる方に新たにさせていただくことはありません。

○研究期間

倫理委員会承認後～2025年3月31日

○対象となる方

千葉医療センター附属千葉看護学校の老年看護学実習期間（2023年12月4日～2024年5月22日）に千葉医療センターの実習病棟（4 西整形外科、5 西脳神経外科、6 西血液内科、5 東循環器科、呼吸器科、6 東消化器外科）に入院した60歳以上の方

○ご協力いただく内容

診療録情報（患者 ID、年齢、性別、病名、看護診断名、診断指標、関連因子）を研究に利用させていただきます。

○個人情報の保護

本研究は、独立行政法人国立病院機構千葉医療センター倫理委員会の承認を受けて実施いたします。研究のデータは、個人が特定されないよう匿名化し個人情報が外部に漏れることがないように研究者が責任を持ち厳重に管理いたします。またデータは本研究以外に使用することはありません。研究成果は学会発表させていただく可能性がありますが、個人が特定される情報の公表はいたしません。研究終了後、データは適切な方法で廃棄いたします。本研究は特定の企業等から支援を受けて行うものではなく、利益相反は存在しません。

○研究代表者

独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター附属千葉看護学校 團 たまみ

【お問い合わせ先】

千葉県千葉市中央区椿森 4-1-2

独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター附属千葉看護学校

看護教員 團 たまみ

電話：043-251-6669 （月～金 8:30～17:15）